

# 2024年3月期 第2四半期決算説明会

---

2023年12月8日

高松機械工業株式会社(証券コード : 6155)

**TAKAMAZ**

# 目次

---

1

第2四半期連結決算内容

2

事業戦略

(参考) 会社概要

当資料は、作成時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいております。経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1

## 第 2 四半期連結決算内容

---

# 第2四半期連結累計決算状況

(単位：百万円)

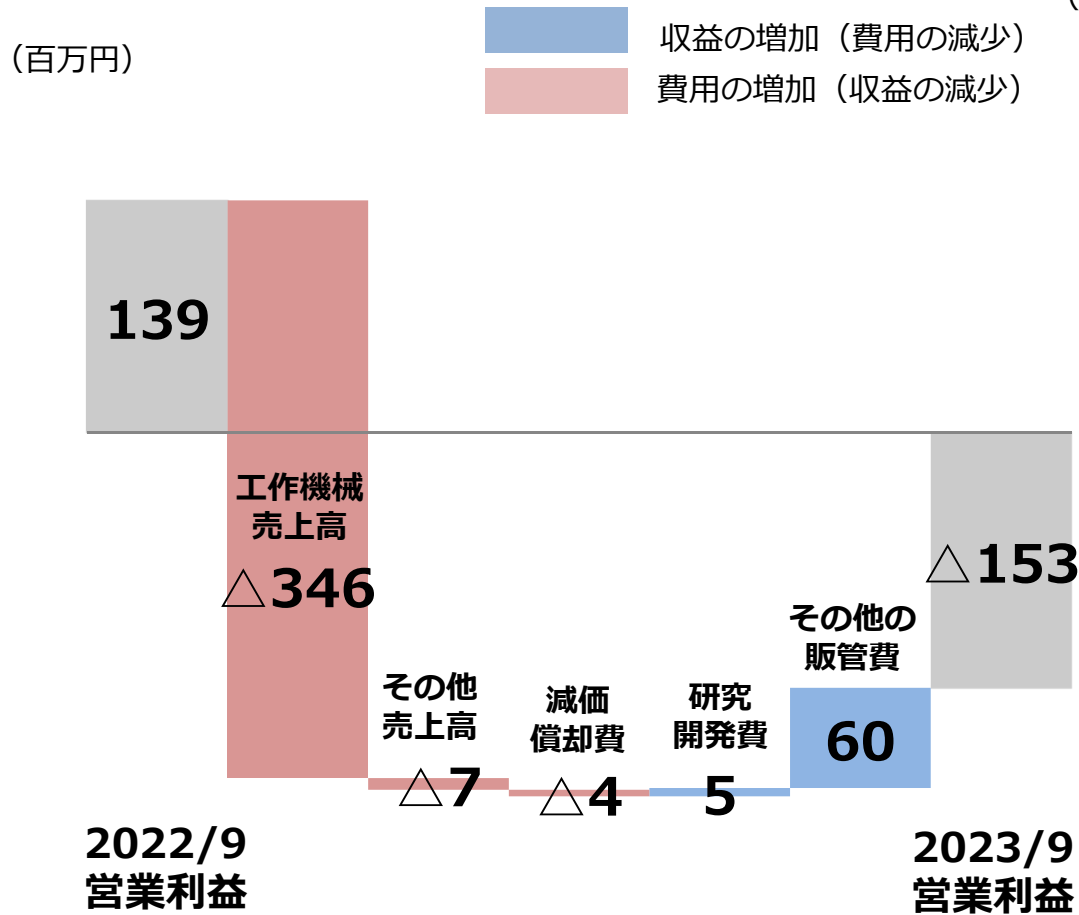
	2022/9		2023/9		対前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減	比率 (%)
受注高	8,885	-	<b>7,428</b>	-	△ 1,456	△ 16.4
売上高	7,474	100.0	<b>7,013</b>	<b>100.0</b>	△ 460	△ 6.2
売上原価	5,497	73.6	<b>5,396</b>	<b>76.9</b>	△ 101	△ 1.8
売上総利益	1,976	26.4	<b>1,617</b>	<b>23.1</b>	△ 358	△ 18.1
販管費	1,836	24.6	<b>1,771</b>	<b>25.3</b>	△ 65	△ 3.6
営業利益	139	1.9	△ <b>153</b>	△ <b>2.2</b>	△ 293	-
経常利益	227	3.0	△ <b>153</b>	△ <b>2.2</b>	△ 380	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	144	1.9	△ <b>133</b>	△ <b>1.9</b>	△ 277	-

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。  
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

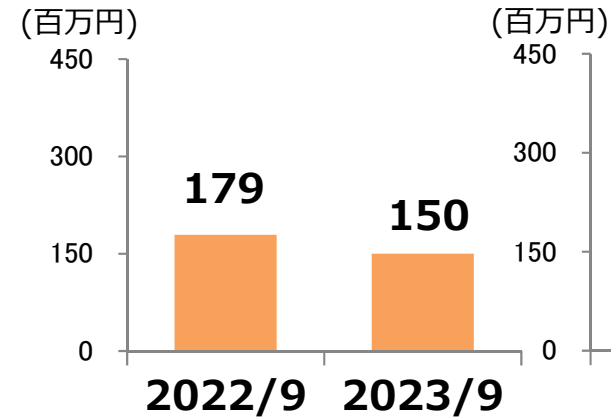
- ✓ 工作機械業界では、当第2四半期連結累計期間の業界受注総額は、前年同期比17.7%減の7,372億円となり、内需・外需ともに低調に推移
- ✓ 主力受注先である自動車業界の設備投資需要回復が遅れていることから、受注高減少
- ✓ 売上高の減少に伴い営業利益も悪化し、営業損失を計上

# ■ 連結累計決算状況

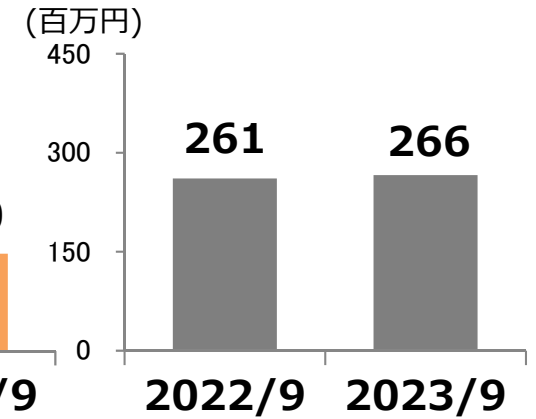
## 営業利益増減分析



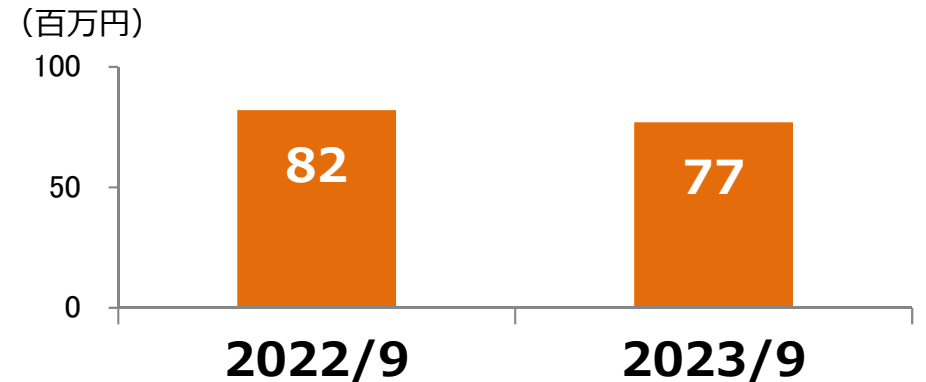
## 設備投資額



## 減価償却費



## 研究開発費



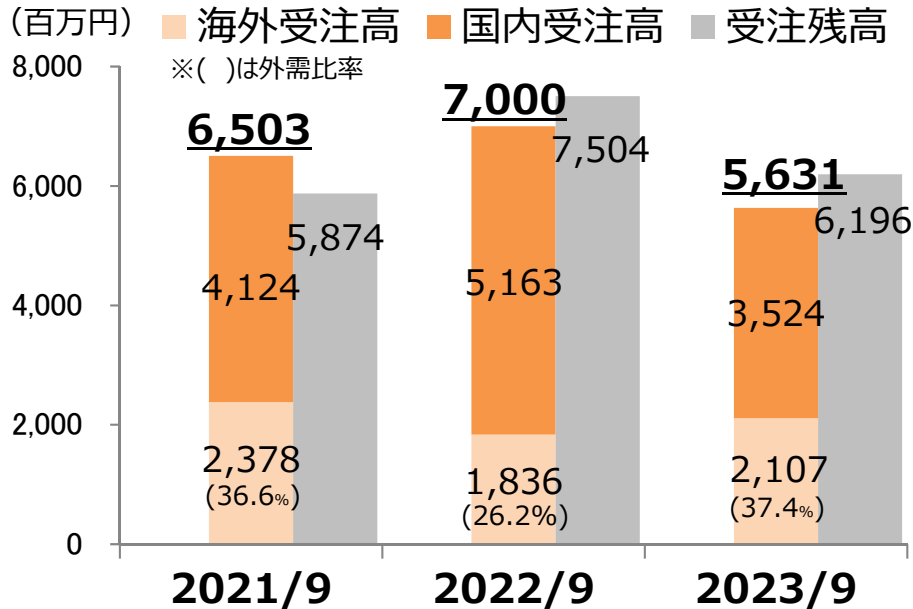
- ✓ 工作機械事業の売上高減少が利益に大きく影響
- ✓ 経費削減に努めたものの、売上高減少の影響をカバーしきれず営業損失を計上
- ✓ 今期の販管費減少は、前期のあさひ工場備品購入が影響

# ■ 工作機械事業の状況

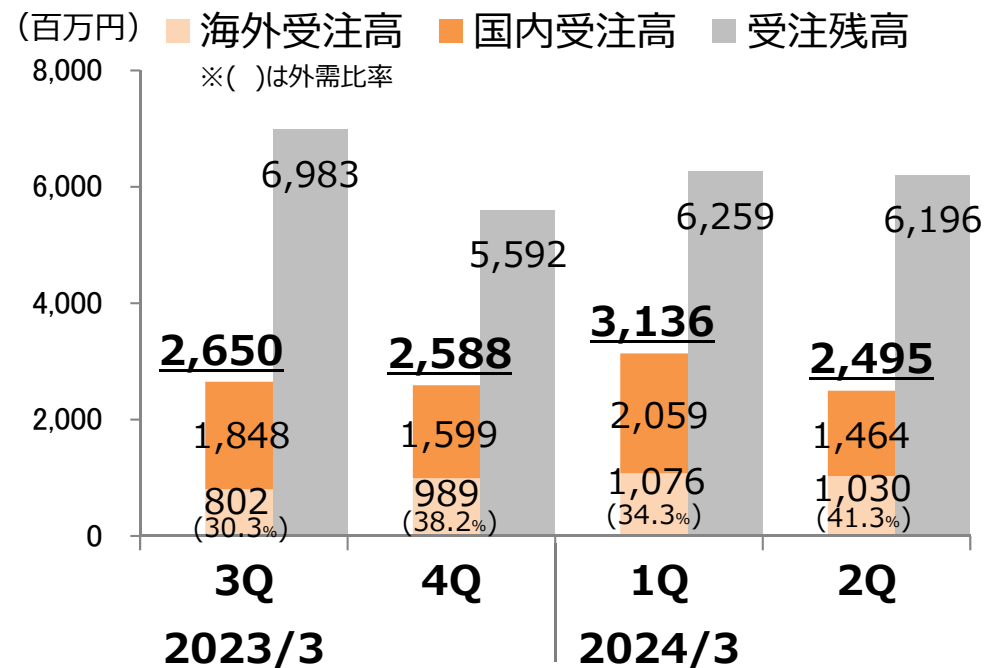
## 受注高・受注残高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。

### 第2四半期累計期間



### 四半期会計期間



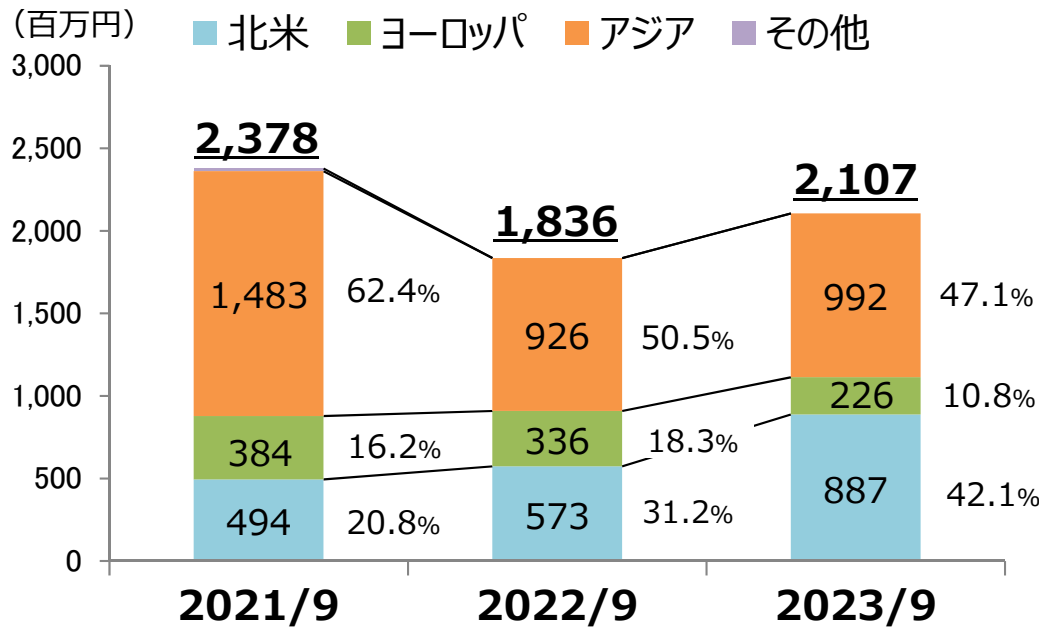
決算のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自動車業界の設備投資需要の調整局面が継続し、受注が減少</li> <li>✓ 海外で物価上昇による設備投資の停滞が見られるものの、大口案件が寄与し受注が増加</li> </ul>
取り組み実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 省人化・自動化ニーズに対応した展示会PRを実施</li> <li>✓ 生販一体化した工作機械事業本部のもと、営業キャラバン、顧客との技術交流会、環境配慮型製品提案などの需要掘り起こし策を実施</li> </ul>

# ■ 工作機械事業の状況

## 海外受注高の推移

(注) 受注高及び受注残高は、旋盤・改造機に限定しています。

### 地域別



### 主要な国別

(単位: 百万円)

	2021/9	2022/9	2023/9
アメリカ	377 (-)	476 (+26.2%)	824 (+73.3%)
タイ	343 (+30.1%)	241 (△29.5%)	402 (+66.3%)
ベトナム	312 (+471.4%)	176 (△43.6%)	393 (+123.0%)
ドイツ	244 (+1,366.5%)	296 (+21.0%)	226 (△23.5%)
中国	624 (+288.7%)	284 (△54.3%)	73 (△74.2%)

※ %表示は対前年同期増減率

### 決算のポイント

- ✓ アメリカは日系自動車関連メーカー向けのスポット受注で増加
- ✓ 中国以外において徐々に需要が回復し、アジア向けが増加
- ✓ 中国の減少は日系自動車関連メーカーの苦戦が影響

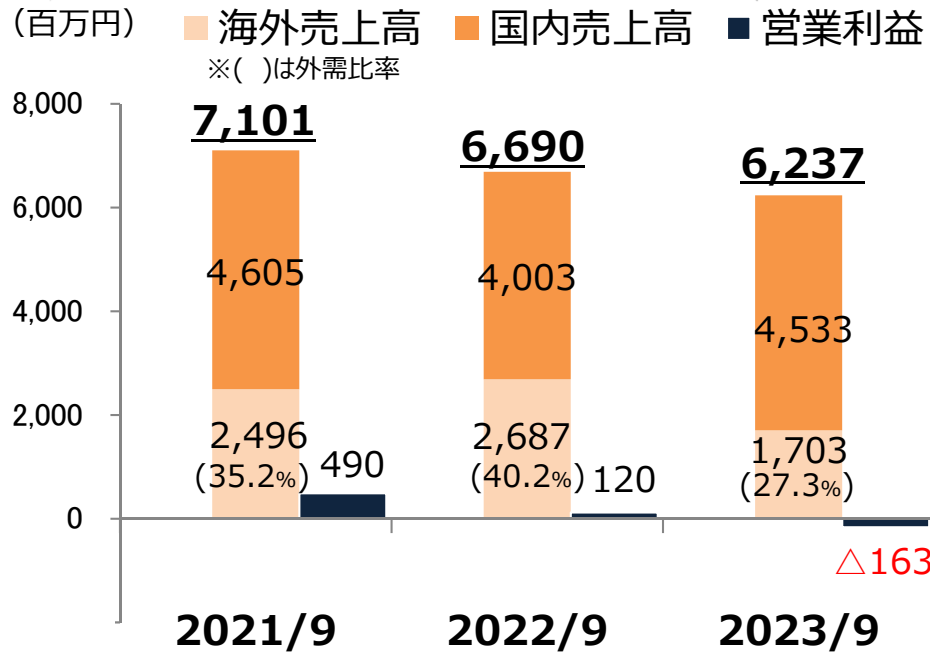
### 取り組み実績

- ✓ 各種展示会への積極的な出展
- ✓ 全海外拠点に参加するミーティングの実施による地域ニーズ収集

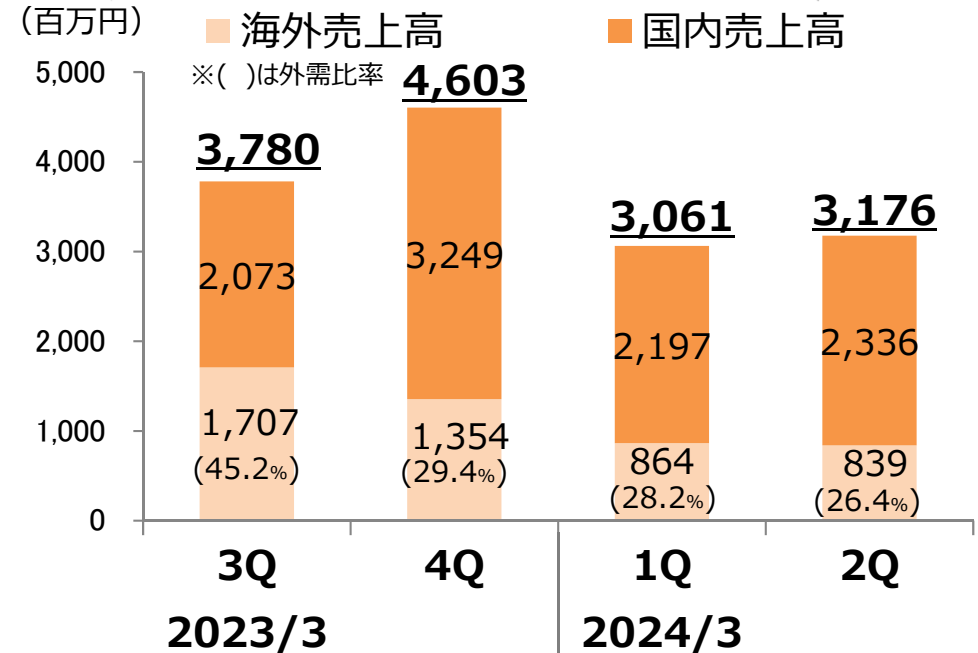
# ■ 工作機械事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

第2四半期累計期間



四半期会計期間



決算のポイント

- ✓ 工作機械事業におけるニーズの多様化・複雑化による工数増加が生産に影響
- ✓ 昨年下期の受注が低迷した影響から、当第2四半期にて減少

取り組み実績

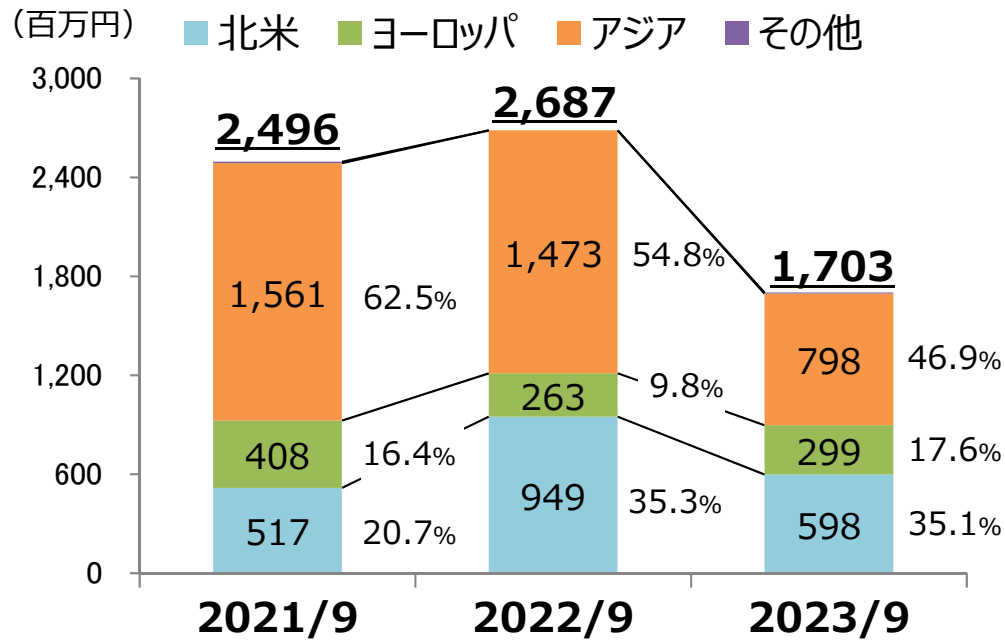
- ✓ 原材料価格の高騰に対応して、機械本体や各種オプションの販売価格を改定
- ✓ 工作機械事業本部の一体化による情報共有の強化・一体感の醸成



# ■ 工作機械事業の状況

## 海外売上高の推移

### 地域別



### 主要な国別

(単位:百万円)

	2021/9	2022/9	2023/9
アメリカ	320 (△54.9%)	911 (+184.7%)	448 (△50.8%)
タイ	456 (+64.1%)	335 (△26.5%)	321 (△4.1%)
中国	656 (+186.0%)	581 (△11.4%)	210 (△63.7%)
ドイツ	232 (+697.8%)	11 (△94.9%)	153 (+1,187.4%)
メキシコ	140 (+18.7%)	37 (△73.1%)	149 (+295.5%)

※ %表示は対前年同期増減率

### 決算のポイント

- ✓ 中国における日系自動車メーカーの販売不振が続き、厳しい状況が継続
- ✓ 欧米では、金利上昇や物価上昇による設備投資の抑制が影響
- ✓ アメリカでは自動車業界が低迷も、他業種にて売上を積み上げ

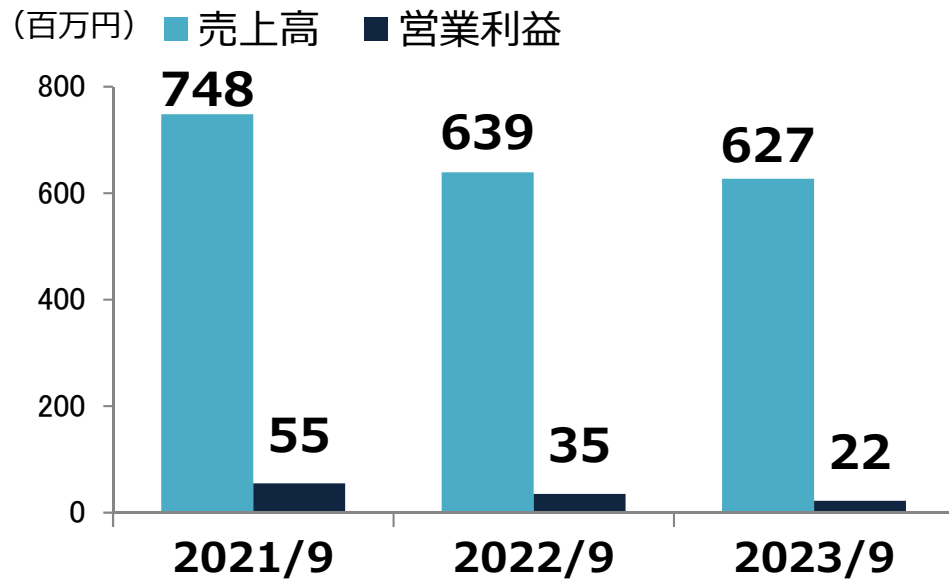
### 取り組み実績

- ✓ 各国の販売経路の整備
- ✓ 各国ディーラへの勉強会・トレーニング実施による製品知識強化

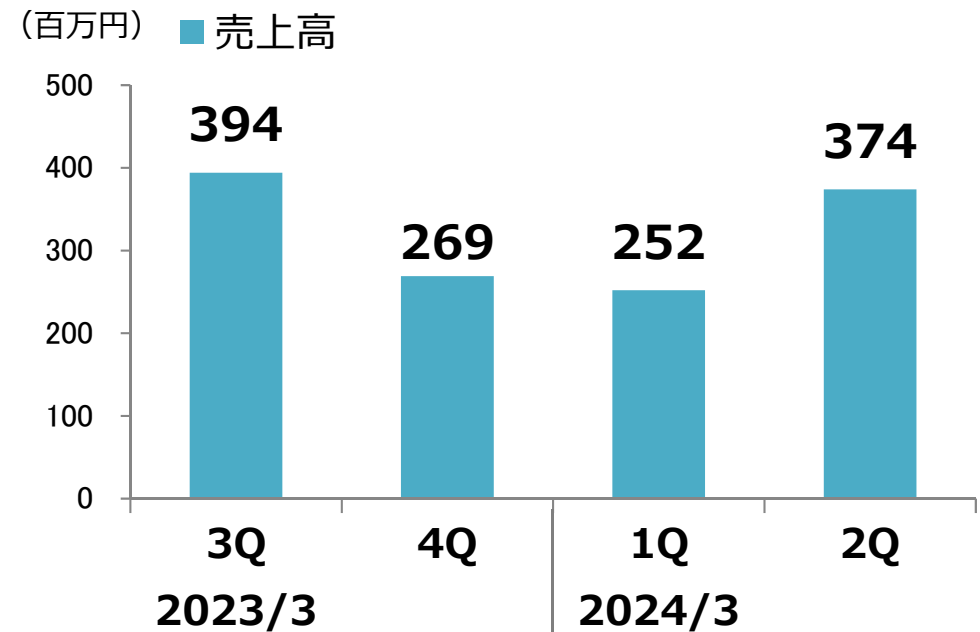
# I T 関連製造装置事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

第2四半期累計期間



四半期会計期間



決算のポイント

- ✓ 新規案件開拓や計画的生産により、売上は前年同期並み
- ✓ 価格改定の成果出るも、製品構成比の影響で、利益は減少

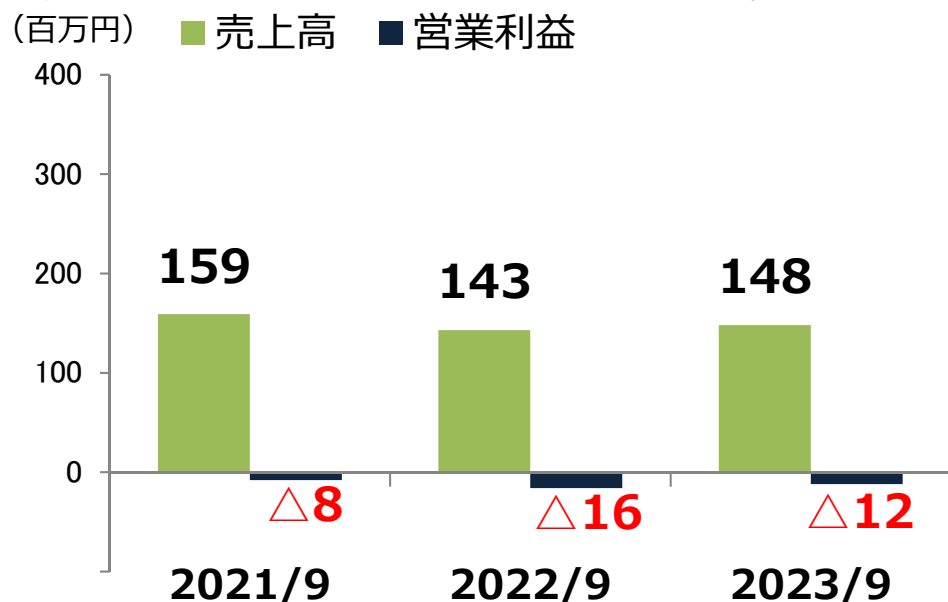
取り組み実績

- ✓ 主要取引先への適正な価格交渉を継続
- ✓ 計画的な客先訪問や商社との情報共有で新規引合確保

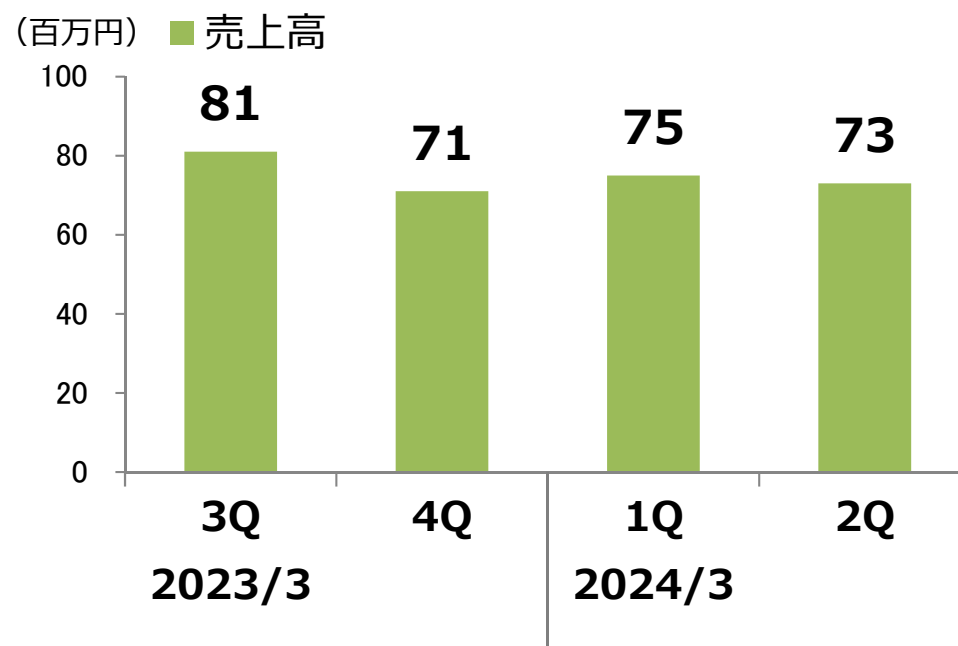
# 自動車部品加工事業の状況

## 売上高・営業利益の推移

第2四半期累計期間



四半期会計期間



### 決算のポイント

- ✓ 自動車需要の軟調推移は継続
- ✓ 自動車メーカーの部品不足等は解消されたことから売上・利益は改善
- ✓ タイの子会社 T P M P (自動車部品加工) の解散を決定

### 取り組み実績

- ✓ 新規受注や既存生産品の数量拡大に向けた営業活動
- ✓ 変種変量に対応した最適シフト生産を実施

2

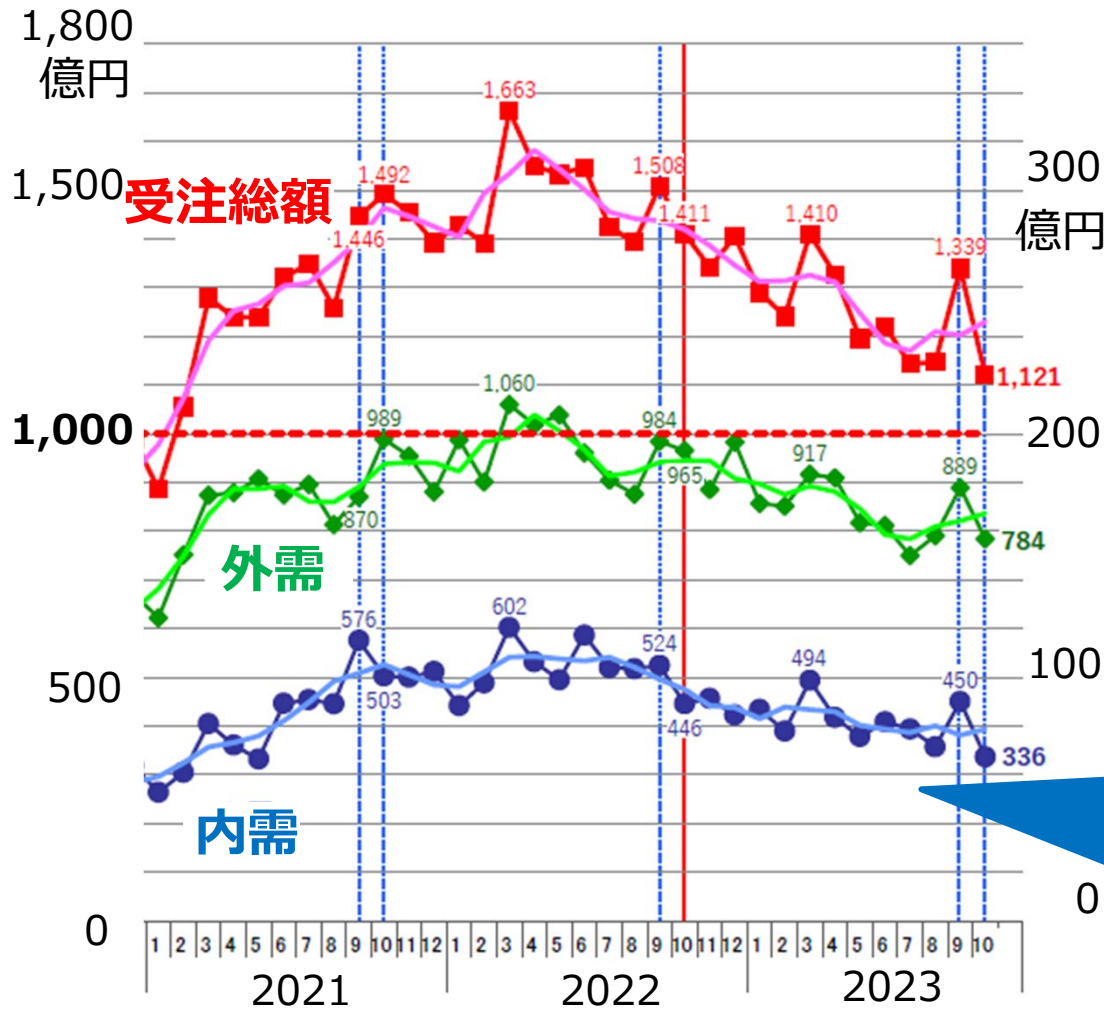
## 事業戦略

---

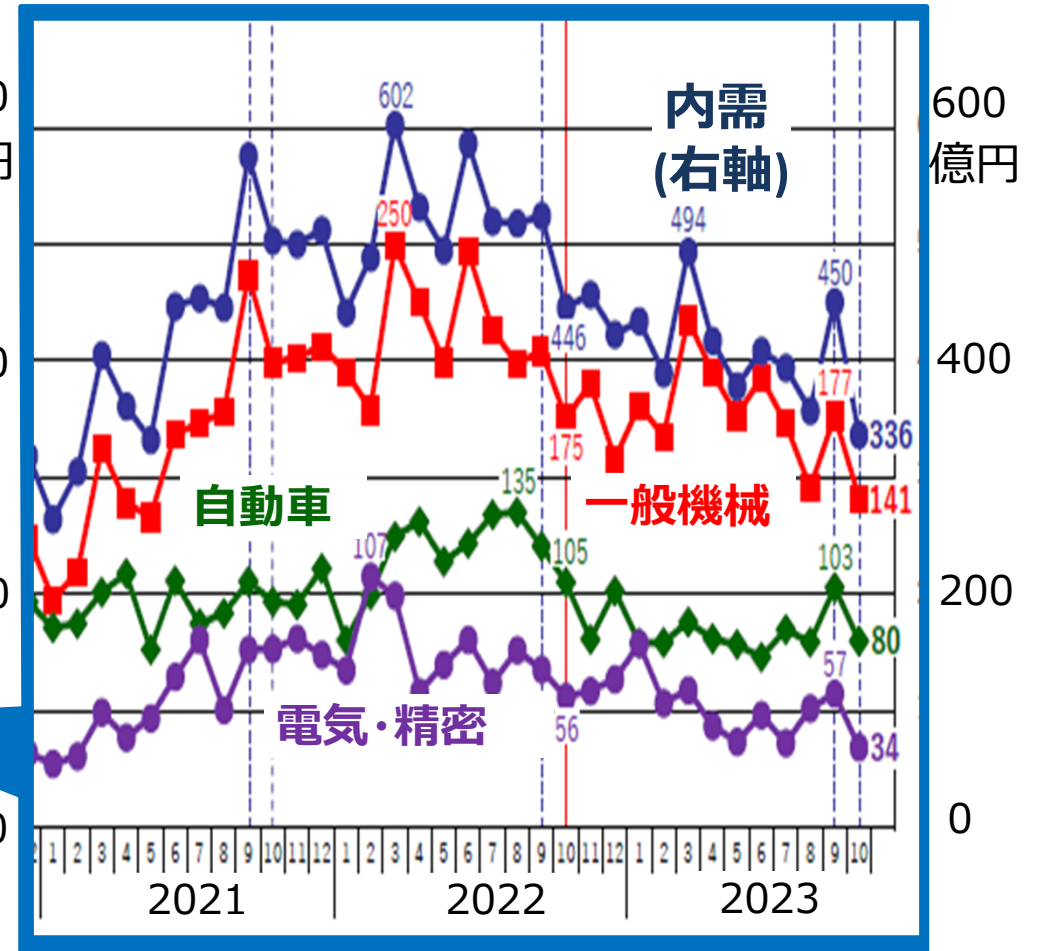
# 工作機械業界の動向

(出典：日本工作機械工業会)

業界受注額の月別推移



【詳細】  
内需の月別推移



- やや弱含んだ印象がある工作機械市場だが、設備投資需要の根強さは継続
- 自動化、環境対応、デジタル革新などのニーズが受注の下支えになっている

# 業績予想

(単位：百万円)

	2023/3 実績	2024/3			
		年初予想	7/31修正予想 (受注高は現時点)	対前期比	年初予想比
受注高	15,906	18,793	<b>14,547</b>	△8.5%	△22.6%
売上高	16,675	18,684	<b>15,365</b>	△7.9%	△17.8%
工作機械事業	15,074	16,992	<b>13,687</b>	△9.2%	△19.5%
I T 関連製造装置事業	1,304	1,400	<b>1,387</b>	+6.4%	△0.9%
自動車部品加工事業	296	291	<b>290</b>	△2.1%	△0.3%
営業利益	516	514	△ <b>313</b>	—	—
営業利益率	3.1%	2.8%	△ <b>2.0%</b>	—	—
経常利益	619	550	△ <b>310</b>	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	489	380	△ <b>290</b>	—	—
1株当たり当期純利益 (円)	45.21	35.09	△ <b>26.84</b>	—	—

※ 受注高は工作機械事業及び I T 関連製造装置事業の受注高の合計です。  
 工作機械事業の受注高は、旋盤・改造機、部品等の合計です。

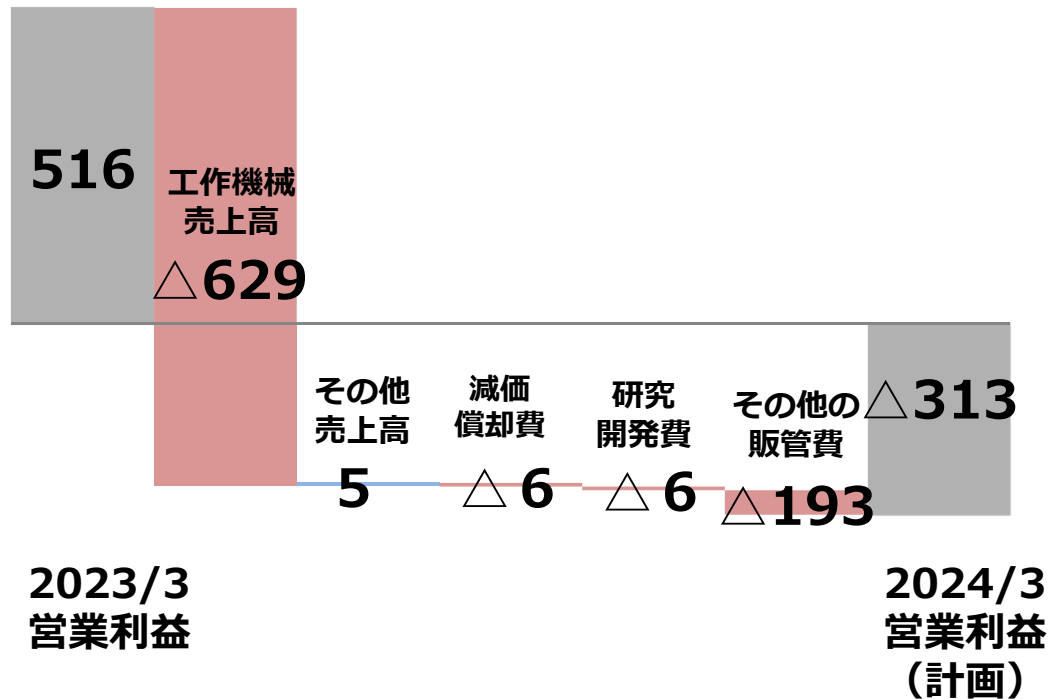
- ✓ 主力ユーザである自動車業界において、調整局面が継続し工作機械需要が想定よりも回復しなかったことから、7月31日に通期業績予想を修正
- ✓ 現時点で7月31日発表時点から、先行きの見通しに大きな変更はなし
- ✓ 中期計画2024の数値目標については、その達成が困難であると見込み取り下げ

# 業績予想

## 営業利益増減分析

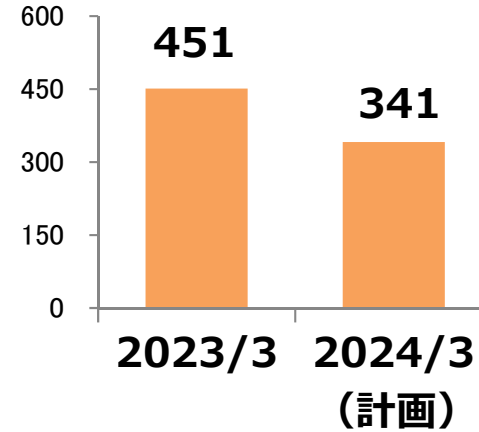
(百万円)

■ 収益の増加 (費用の減少)  
■ 費用の増加 (収益の減少)



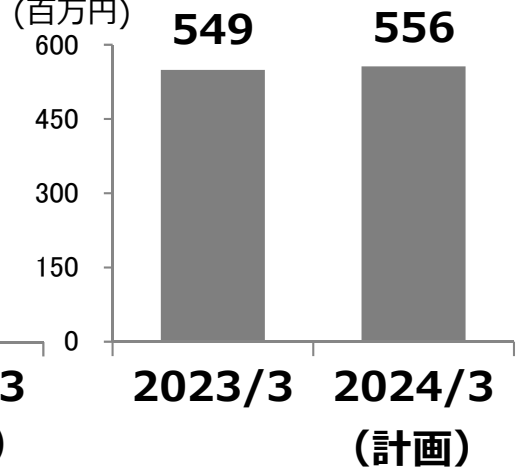
## 設備投資額

(百万円)



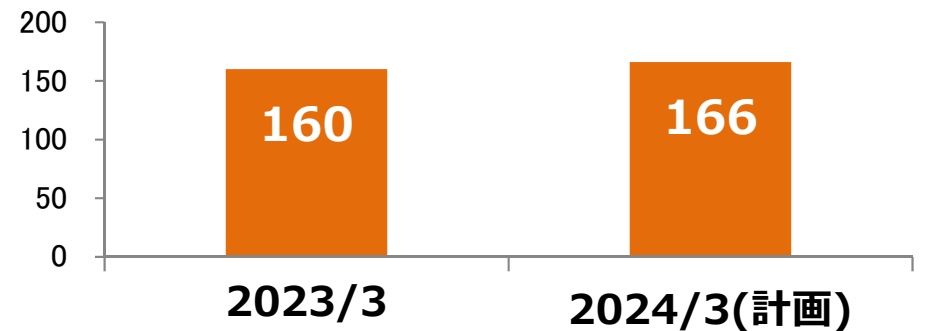
## 減価償却費

(百万円)



## 研究開発費

(百万円)



- ✓ 工作機械売上高の減少が利益に大きく影響
- ✓ 老朽更新を含めた継続的な設備投資を実施
- ✓ 2023年7月に行った価格改定に関しては、年度末から一定の効果

# ■ 自動化・省人化提案

付加価値を高めた製品の提案により、受注獲得をはかる

## ● 自動化・省人化提案の促進

人件費削減や人手不足解消の観点からニーズが高まる自動化・省人化を積極的にP R

- ✓ 既存ラインの自動化に対応する、システム単体での提案
- ✓ ユーザとの交流会を通じた課題の調査及びサポート
- ✓ 展示会での実機展示による省人化アピール



2023年10月18～21日 メカトロテックジャパンに出展 (ポートメッセなごや)





# ■ 需要の掘り起こし

## 様々な需要掘り起こし策を実施

1. 営業キャラバンの実施
2. ユーザとの技術交流会の実施
3. ディーラ向け勉強会の実施
4. カーボンニュートラルに貢献する環境配慮型製品の提案



営業キャラバンの様子

## 主力受注先の自動車業界以外の市場開拓

自動車業界以外に対して積極的な営業活動の推進



多岐に渡る分野からの受注獲得

- |         |           |
|---------|-----------|
| ✓ 建設機械  | ✓ 医療機器    |
| ✓ 航空機関連 | ✓ 家電製品    |
| ✓ 電動二輪車 | ✓ 油圧・空圧機器 |

# ■ 新製品のPR

## お客様の变化するニーズを満たす新製品を投入

- ✓ カーボンニュートラル・SDGs
- ✓ 生産性向上

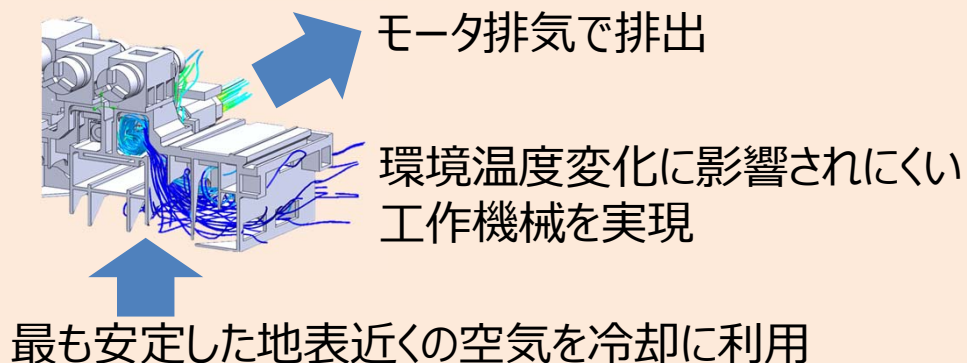


### NEW XWT-8

- ✓ 大型タッチパネルやDX技術による作業性向上
- ✓ 独自の機械冷却システム（※）により消費電力の削減

#### ※【工場環境特性を利用した冷却システム】 **特許出願中**

- XWT-8に、当社独自の冷却システムを採用
- 機械の冷却システムに、地表に近い空気層の空気を利用することで消費電力削減



**消費電力の削減により  
カーボンニュートラルの実現に貢献**

# ■ 最適生産の実現へ

社内の連携強化による適切な生産対応により、売上高を確保

## ● 営業部門と生産部門の一体化（2023年4月～）

「営業本部」「生産本部」の区分を廃止し「工作機械事業本部」として一体化

- ✓ スピーディかつベストな意思決定を実現
- ✓ 顧客ニーズにも柔軟かつタイムリーに対応
- ✓ 一体化によるコスト削減と更なる作業効率化を追求



## ● 全社最適を意識した生産能力強化



拡大移設した精密組立室

精密組立室拡大移設に伴う  
組立エリアのレイアウト変更

荷物の運搬時間

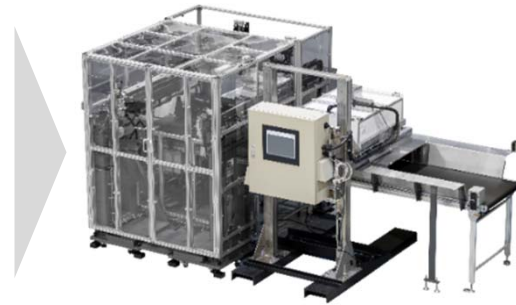
**1/3**に削減

# ■ 新事業への挑戦

## リサイクル業界の現状

- ✓ カーボンニュートラル・SDGs等への注目
- ✓ 手作業でのゴミの選別が主流（ビンの選別）
- ✓ 人手を確保するのに苦戦

## 資源ゴミAI自動選別機の開発



ビンの特徴を認識したのち、ロボットを利用した自動化システムが認識したビンピックアップし、ビンの色選別を行う



資源ゴミAI自動選別機の紹介動画はこちら  
からご覧いただけます

<https://www.youtube.com/watch?v=lUnsB-Q2se8>



TAKAMAZ 新事業

- 試作機を各種展示会に出展・個別訪問の実施により、積極的なPRを推進



2023 NEW環境展



MEX金沢2023

## 多くの引合を獲得

- ✓ 今後は早期製品化を推進

# ■ 選択と集中（不採算事業の見直し）

## 採算性の観点から不採算事業を閉鎖

- タイで自動車部品加工事業を行う

**TP MACHINE PARTS CO.,LTD.**

**解散及び清算するとともに同社に対する貸付金の一部放棄を決定**

### 理由

- ✓ 計画していた生産量を確保することができず営業赤字が継続
- ✓ 将来の見通しや改善策等を総合的に判断し、今後も事業を軌道に乗せることが困難と判断

## グループ収益の改善

※タイの販売会社TMTはこれまで通り事業を継続します。

# サステナビリティの実現

常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、  
企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献

## ● 本社工場に太陽光発電設備を設置

- ✓ 本社工場CO2排出量14%削減（2021年度比）
- ✓ 駐車場（カーポート型）と屋根の一部に設置
- ✓ PPA（第3者所有モデル）を採用
- ✓ カーポート型PPAは北陸初



## ● 2024年秋 あさひ工場にも設置を決定

- ✓ あさひ工場屋根に設置
- ✓ あさひ工場CO2排出量27%削減（2022年度比）



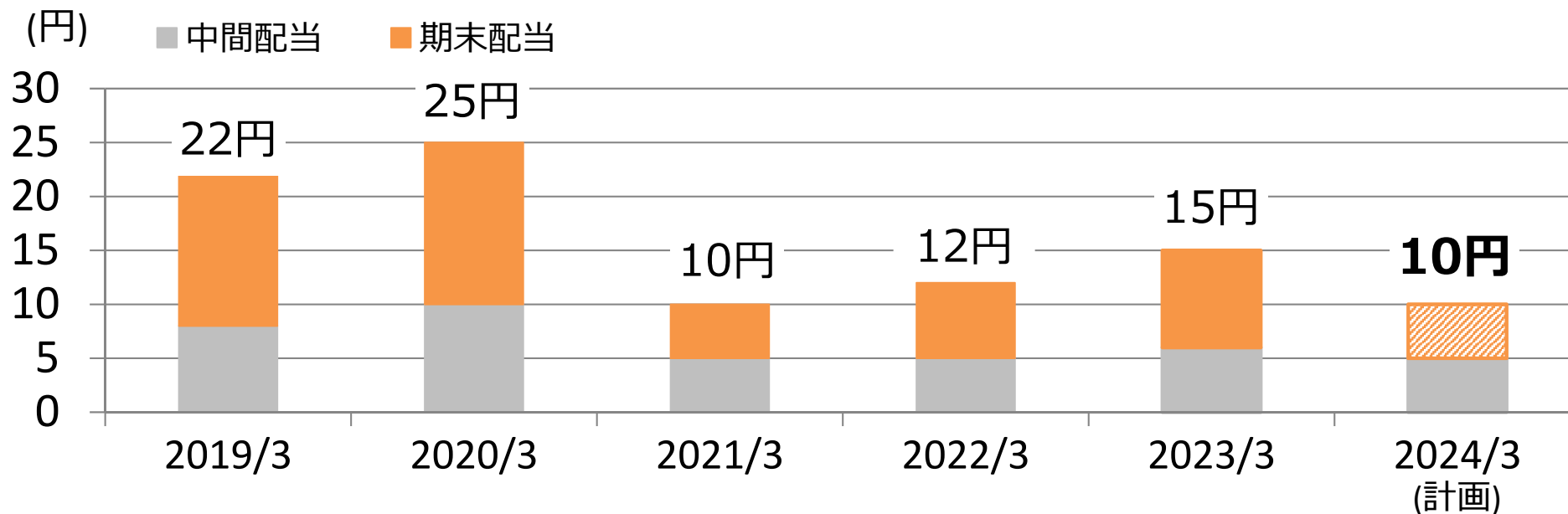
再生可能エネルギーの利用拡大

# 株主還元

- ◆株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持
- ◆将来の利益の成長及び企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行う
- ◆自己株式取得は、総還元性向等を総合的に勘案した上で実施

## 自己株式の取得を決定

- 取得予定株数 160,000株（上限） 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.5%
- 株式の取得価額の総額 100,000,000円（上限）
- 取得期間 2023年11月1日～2024年3月31日



# (参考) 会社概要

---



# ■ 会社概要



会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
本社所在地	石川県白山市旭丘1-8
資本金	18億35百万円
発行済株式総数	1,102万株
正社員数	連結：583名 単体：519名（2023年9月末現在）
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 6155）

# 事業内容

工作機械事業  
(150億74百万円)

## 事業内容

- CNC旋盤、周辺装置の製造、販売、サービス・メンテナンス



- コレットチャックの製造、販売



## 生産拠点

本社工場

あさひ工場



他 第2工場、第4工場

I T 関連製造  
装置事業  
(13億4百万円)

## 事業内容

液晶基板や半導体などに関する製造装置の製造

## 生産拠点

開発センター



自動車部品  
加工事業  
(2億96百万円)

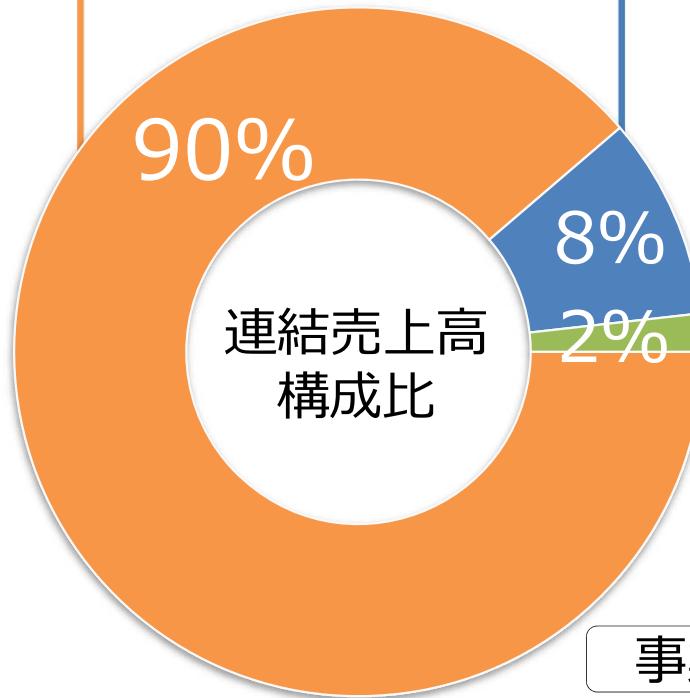
## 事業内容

自社製旋盤による  
自動車部品の加工



## 生産拠点

第3工場



※売上高及び売上高構成比は2023年3月期の数値です。

# ■ 営業拠点・グループ会社

国内営業拠点：9か所

関東、大阪、名古屋、  
浜松、厚木、東北、  
北陸、信越、広島

国内グループ会社：2社

- タカマツエマグ
- FTJ

海外グループ会社：8社

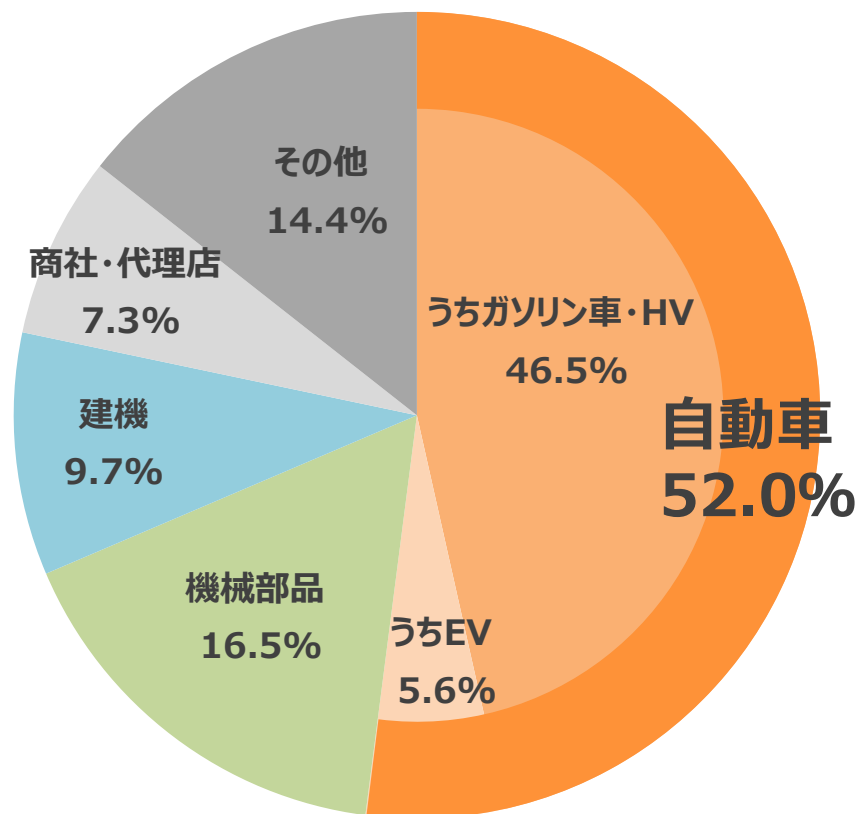
- TMU (アメリカ)
- TME (ドイツ)
- TMT (タイ)
- 喜志高松 (中国)
- 友嘉高松 (中国)
- PTTI (インドネシア)
- TMVN (ベトナム)
- TMMX (メキシコ)

国内では、自動車産業が盛んな地域での営業拠点の開設  
海外では、ユーザの海外進出に対応すべくグループ会社の設立

迅速かつ適切なサービス・メンテナンスの提供

# 業種別受注先の状況（旋盤・改造機のみ）

## 2023/9 構成比



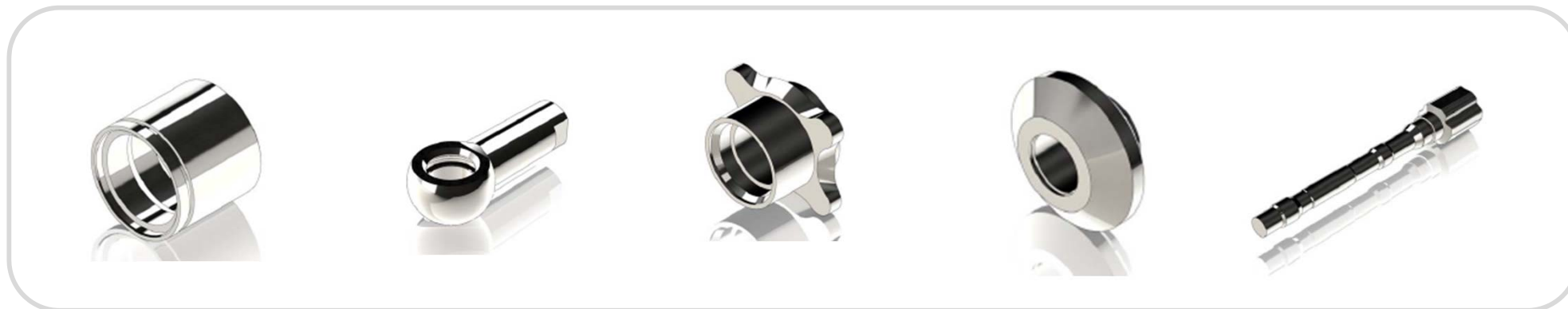
### ➤ これまでの主な納入先

トヨタ自動車 ・ SUBARU ・ 日産自動車  
デンソー ・ マツダ ・ ヤマハ ・ ダイハツ ・ 本田技研  
三菱電機 ・ LIXIL ・ 東京計器

# ■ 当社製品による加工例

## 当社製品による加工例

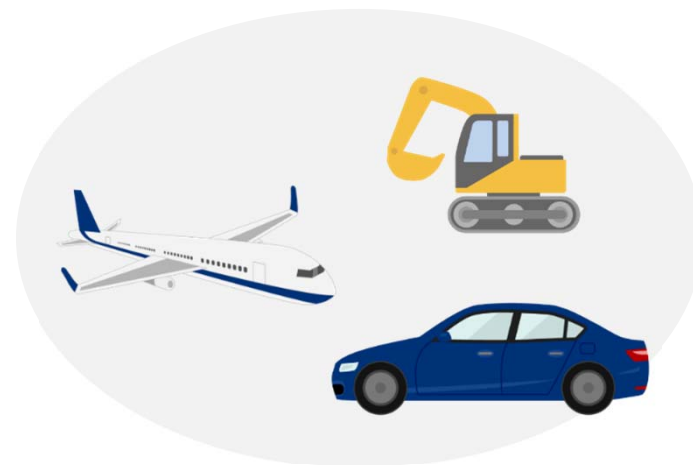
✓ 高品質が要求される、小さく丸い部品を加工



## 加工した部品の使用例

- ✓ 建設機械
- ✓ 医療機器
- ✓ 航空機関連
- ✓ 家電製品
- ✓ 電動二輪車
- ✓ 油圧・空圧機器

**主力受注先の自動車関連以外の分野の  
新規開拓にも注力**



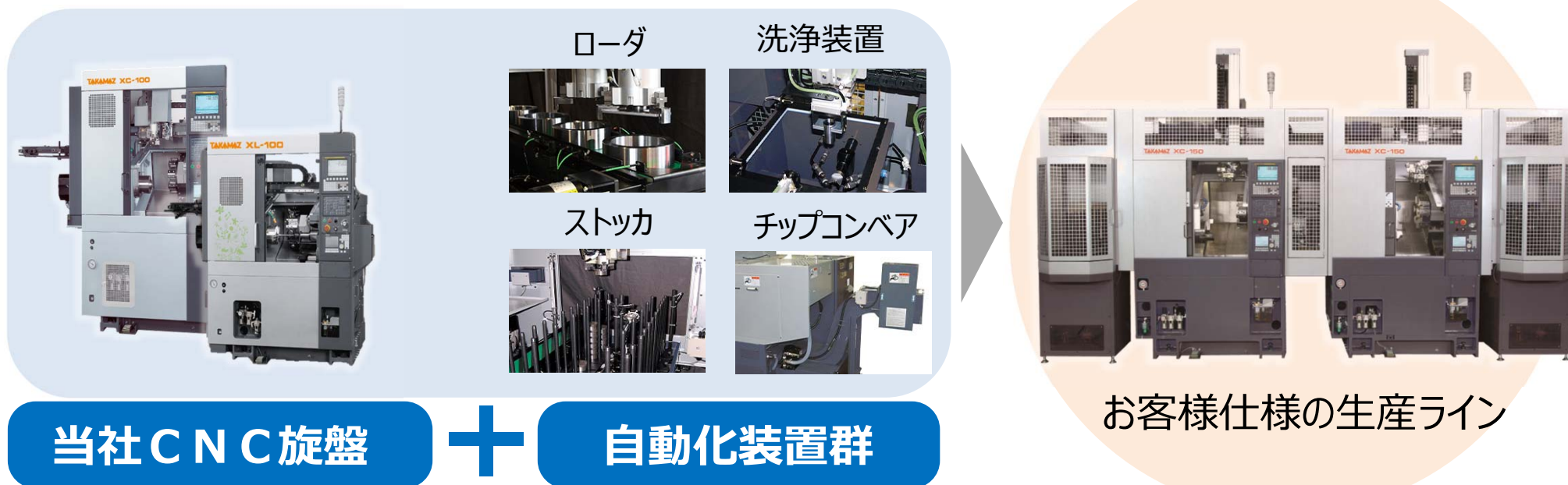
# ■ 自動化技術

## ● 豊富なノウハウと製品群

- 早くから自動化技術に取り組み、実績を積み上げ
- 自動化技術を組み合わせ、お客様に最適の生産ラインを提供

## ● 設計～製造まで一貫した生産体制

自動化装置・システムを自社で開発



# 多様な製品ラインナップ

## ユーザーニーズに応える製品開発

高精度・高品質を維持しつつ生産性の向上を実現

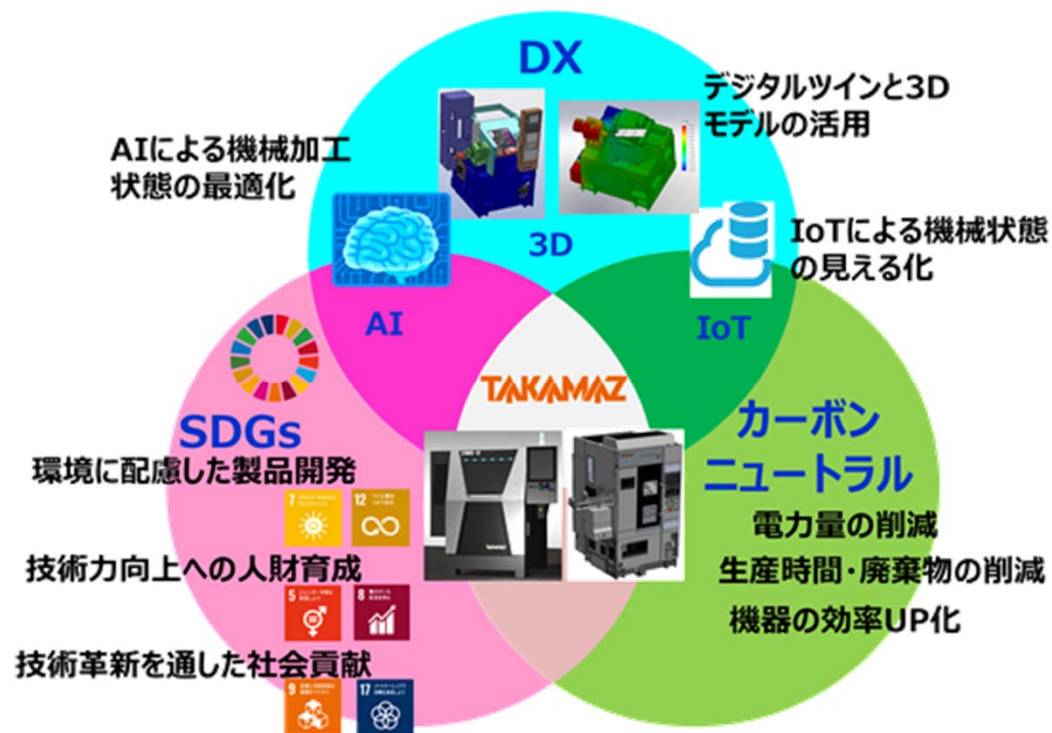
省エネ・省スペース

環境負荷の低減

機能を特化した  
戦略機種

## 新製品開発の取り組み

「DX」・「SDGs」・「カーボンニュートラル」の  
3つのキーワードで  
新製品開発を進めています。



# 営業体制

## 提案型営業

営業員全員がセールスエンジニア

技術的専門知識を備えた営業員が  
加工ラインや加工方法をその場で提案



## 地域密着型営業

国内・海外に広がるネットワーク

各地域のニーズに対応



# ユーザからの高いリピート率



# TAKAMAZ

<https://www.takamaz.co.jp>

